



2022年10月24日

各位

会社名 住友ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 博
(コード:4506 プライム市場)
問合せ先 執行役員
コーポレートコミュニケーション担当 野口 直記
(大阪:TEL. 06-6203-1407)
(東京:TEL. 03-5205-3725)

(開示事項の経過)完全子会社スミトバント社による連結子会社マイオバント社の完全子会社化に関する契約締結について

住友ファーマ株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:野村 博)は、2022年10月3日付けのプレスリリースで、当社の完全子会社であるスミトバント・バイオフィーマ・リミテッドが当社の連結子会社であるマイオバント・サイエンシズ・リミテッド(ニューヨーク証券取引所上場、NYSE:MYOV)の発行済株式取得の提案をしたことについてお知らせしましたが、10月23日(現地時間)、当社、スミトバント社およびマイオバント社の3社は、スミトバント社によるマイオバント社の完全子会社化(以下「本完全子会社化」)に関する契約(以下「本契約」)を締結しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 本完全子会社化の目的

当社は2019年12月に、スミトバント社を通じてマイオバント社を連結子会社化しました。当社およびスミトバント社は、マイオバント社の進行性前立腺がん治療剤「ORGOVYX[®](オルゴビクス)」(販売名、一般名:レルゴリクス)、子宮筋腫治療剤および子宮内膜症治療剤「MYFEMBREE[®](マイフェンブリー)」(販売名、レルゴリクス40mg、エストラジオール1.0mg、酢酸ノルエチンドロン0.5mgの配合剤)の米国等での開発および販売を支援してきました。

当社の代表取締役社長である野村 博は「マイオバント社は、大型化が期待できる2つの製品を有しています。本完全子会社化により、スミトバント社とマイオバント社の持つ専門性、基盤および資源を集積することで、マイオバント社の製品力を強化し、前立腺がんや婦人科疾患における患者さんのアンメット・ニーズに応える革新的な治療法を提供し続けていくことに寄与できます。また、これらの製品の販売により生まれるキャッシュフローを当社グループの持続的成長のために最大限活用する経営戦略の実行が可能となり、経営のスピードを加速できると考えています」と述べています。

2. 本完全子会社化の概要

スミトバント社は、マイオバント社を存続会社とし、本完全子会社化のために設立した子会社を消滅会社とする合併を行います。

本完全子会社化の対価として、スミバント社は、マイオバント社の発行済株式のうちスミバント社が未保有の株式(約 61,907,523 株)を 1 株当たり 27.00 米ドル(以下「取得価格」)で取得し、総額 17 億米ドル(完全希薄化ベース)をスミバント社以外のマイオバント社の株主(以下「少数株主」)に支払います。合意した取得価格は、9 月 30 日(現地時間)の同社株式の終値に対して約 50%、9 月 30 日(現地時間)の同社株過去 60 日間の売買高加重平均価格に対して約 55%のプレミアムをつけた価格であり、結果として、マイオバント社の企業価値は 29 億米ドル(完全希薄化ベース)となります。

本完全子会社化に係る資金については、当社の手元資金および銀行借入により賄う予定であり、株式会社三井住友銀行から必要な借入のためのコミットメントを取得しています。

本契約は、当社およびスミバント社の取締役会で承認されました。また、マイオバント社の社外取締役で構成される特別委員会の勧告後、同社取締役会で、スミバント社が指名する取締役が審議および採決を棄権する状況において、満場一致で承認されました。なお、本完全子会社化は、少数株主による承認およびその他法的手続きの完了を条件としており、2022 年度第 4 四半期に完了する予定です。完全子会社化の完了後、マイオバント社は、ニューヨーク証券取引所への上場を廃止し、当社グループの一企業として事業を継続する予定です。

本完全子会社化について、当社およびスミバント社の財務アドバイザーとして J.P. Morgan Securities LLC を、法務アドバイザーとして Sullivan & Cromwell LLP を起用しています。また、マイオバント社は財務アドバイザーとして、Goldman Sachs & Co. LLC を、法務アドバイザーとして、Skadden, Arps, Slate, Meagher & Flom LLP を起用しています。

3. スミバント社の概要

(1)	名 称	スミバント・バイオフィーマ・リミテッド	
(2)	所 在 地	英国 ロンドン	
(3)	代表者の役職・氏名	Chairman:野村 博	
(4)	事 業 内 容	スミバントグループ会社の管理および事業戦略等の策定推進	
(5)	資 本 金	1 千米ドル	
(6)	設 立 年 月 日	2019 年 10 月 25 日	
(7)	大株主および持株比率	住友ファーマ株式会社 100%	
(8)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当該会社は当社の 100%子会社です。
		人 的 関 係	当社の役員のうち 3 名が当該会社の役員を兼務し、当社の従業員 6 名が当該会社に出向しています。
		取 引 関 係	当社から当該会社に対し、一部の業務を委託しています。

4. マイオバント社の概要

(1)	名 称	マイオバント・サイエンズ・リミテッド	
(2)	所 在 地	英国 ロンドン	
(3)	代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer: David Marek	
(4)	事 業 内 容	医療用医薬品(婦人科、前立腺がん)の製造、販売	
(5)	資 本 金	2 千米ドル	
(6)	設 立 年 月 日	2016 年 2 月 2 日	
(7)	大株主および持株比率	スミバント・バイオフィーマ・リミテッド 約 52%	
(8)	上 場 会 社 と	資 本 関 係	当社は、スミバント社を通じて、当該会

	当該会社の関係		社の発行済株式数の約 52%を所有し、当該会社を連結子会社としています。		
		人 的 関 係	当社の役員のうち 1 名が当該会社の役員を兼務しています。		
		取 引 関 係	当社から当該会社に貸付を行っています。		
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態（単位：百万米ドル、1 株当たり連結当期純利益および 1 株当たり配当金を除く）				
	決 算 期	2020 年 3 月 期	2021 年 3 月 期	2022 年 3 月 期	
	連 結 純 資 産	△108	△354	△473	
	連 結 総 資 産	106	725	520	
	連 結 売 上 高	-	59	231	
	連 結 営 業 利 益	△275	△261	△187	
	当 期 純 利 益	△289	△255	△206	
	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	△3.37	△2.83	△2.22	
	1 株 当 たり 配 当 金	-	-	-	

5. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1)	取得前の所有株式数	50,041,181 株、(議決権の数:50,041,181 個、議決権所有割合:約 52%)
(2)	取 得 株 式 数	約 61,907,523 株
(3)	取 得 価 額	約 17 億米ドル
(4)	取得後の所有株式数	約107,705,699株(議決権の数:約107,705,699個、議決権所有割合:100%)

- ・議決権所有割合の計算上、潜在株式の影響は考慮しておりません。
- ・取得株式数および取得後の所有株式数には潜在株式等を含めています。

6. 日程

(1)	契 約 締 結 日	2022 年 10 月 23 日(現地時間)
(2)	株 式 譲 渡 実 行 日(注)	2022 年度第 4 四半期中(見込み)

(注)適用される規制当局の承認等が必要です。

7. 業績に与える影響

本完全子会社化により、コア営業利益以下の各利益段階で減益影響が想定されますが、クロージングの時期により変動するため、影響額は未定であり、2022 年度連結業績予想修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示します。

*本件に関連するプレスリリースとして「完全子会社スミトバント社による連結子会社マイオバント社の発行済株式取得の提案について」を 2022 年 10 月 3 日に開示しています。

<https://www.sumitomo-pharma.co.jp/ir/news/pdf/ne20221003.pdf>

(ご参考)

スミトバント社について

スミトバント社は、2019 年に設立され、医薬品の開発および商業化を加速して希少疾患等を患う患者さんに新たな治療法を提供するテクノロジー駆動型のバイオ医薬品企業です。スミトバント社が保有する独自のヘルスケアテクノロジープラットフォーム、科学的専門性およびスミトバントグループ各社の

多様なポートフォリオを活用して、米国食品医薬品局 (FDA) に承認された複数の製品のみならず、小児疾患、泌尿器疾患、がん、婦人科疾患、希少呼吸器疾患、感染症における患者さんのアンメット・ニーズに応える初期から後期までの強固なパイプラインの開発を支援しています。

当社は Roivant Sciences Ltd. (本社: 英国 ロンドン・スイス バーゼル) との戦略的提携により、スミバント社を完全子会社化しました。スミバント社の詳細については、www.sumitovant.com をご覧ください。

マイオバント社について

マイオバント社は 2016 年に設立された、婦人科疾患および男性疾患に対する革新的な治療法の提供に注力するバイオ医薬品企業です。マイオバント社はレルゴリクスについて、がん領域および婦人科領域において 5 つのフェーズ 3 試験を成功させ、FDA から進行性前立腺がん、閉経前の女性の子宮筋腫に伴う過多月経、および閉経前の女性の子宮内膜症に伴う中等度から重度の痛みを適応症とした 3 つの承認を取得するとともに、欧州委員会および英国の医薬品・医療製品規制庁から子宮筋腫およびホルモン感受性の進行性前立腺がんを適応症とした 2 つの承認を取得しています。マイオバント社はパートナーとともに、上市品の適応追加と、保有するパイプラインの開発に継続的に取り組みます。

当社は Roivant 社との戦略的提携により、新設子会社であるスミバント社の傘下に 2019 年 12 月にマイオバント社を連結子会社化しました。マイオバント社の詳細については、www.myovant.com をご覧ください。

以上

【将来事象に関する記載にかかる注意事項】

本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、業績・その他の将来の予測等に関する事項は、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。法律上別段の定めがある場合を除き、当社は、本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項を更新する義務を負いません。

【追加情報およびその入手場所】

本書は、企図されるスミバント社および当社によるマイオバント社の買収に係る勧誘文書と見做される可能性があります。当該企図される買収に関連して、スミバント社、当社およびマイオバント社は、Schedule 13D の訂正報告書、Schedule 13E-3 を用いた当社およびスミバント社に係る取引の詳細ならびに Schedule 14A を用いたマイオバント社の委任状を含む関係書類を米国証券取引委員会 (SEC) に提出する予定です。SEC に提出される当社およびスミバント社の取引詳細ならびにマイオバント社の委任状を含む関係書類には企図される取引に関する重要な情報が含まれることから、同社の株主におかれましては、これらの書類をすべてお読みになるようお願いいたします。投資家および証券保有者におかれましては、これらの書類を SEC のウェブサイト (<http://www.sec.gov>) にて、無償で入手することができます。また、マイオバント社の株主に対しては、取引関連書類を同社より無償で取得する方法に関する情報がしかるべき時期に提供されます。

【勧誘への参加者】

スミバント社、その取締役および執行役員、当社、その取締役および執行役員、ならびに、マイオバン

ト社、その取締役および執行役員は、企図される取引に関し、マイオバント社の普通株主に対する委任状勧誘への参加者と見做される可能性があります。マイオバント社の取締役および執行役員に関する情報は、2022年7月28日付けでSECに提出された同社の2022年定時株主総会の委任状に記載のとおりです。当該参加者の利害関係に関する追加情報は、本件に関する委任状が提供された後にこれを参照することにより入手可能です。